

ODAWARA

2014年12月期(第36期)
第2四半期決算説明資料

① 株式会社 **小田原エンジニアリング**

2014年8月13日

ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.

経済の動向

《我が国の経済》

- ・消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費や生産など一部に弱い動きがみられた
- ・企業収益の改善
- ・設備投資の増加
- ・雇用情勢の改善
- ・全体として緩やかな回復基調が続いた

《世界経済》

- ・(中国)景気拡大のテンポは緩やか
- ・(米国)景気が回復
- ・(欧州)景気が持ち直した
- ・(全体)一部に弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復

《営業成績》

(単位:百万円)

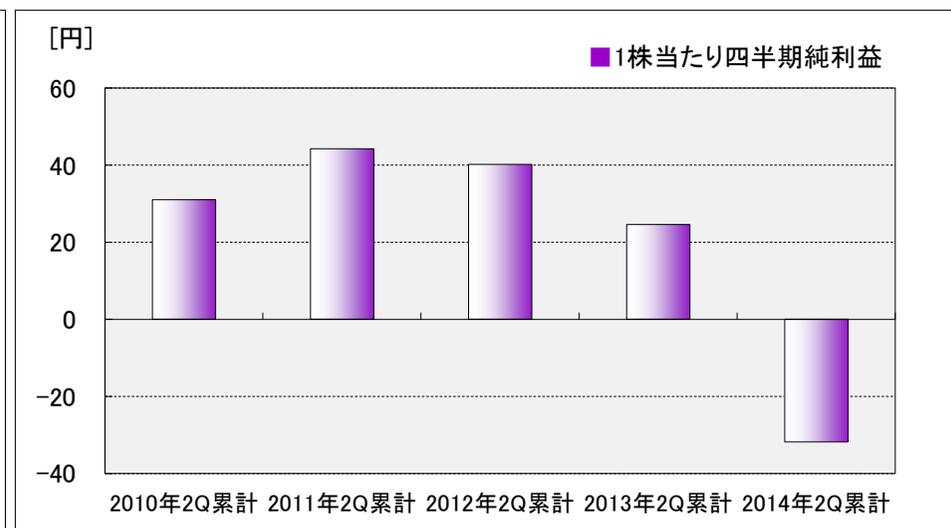
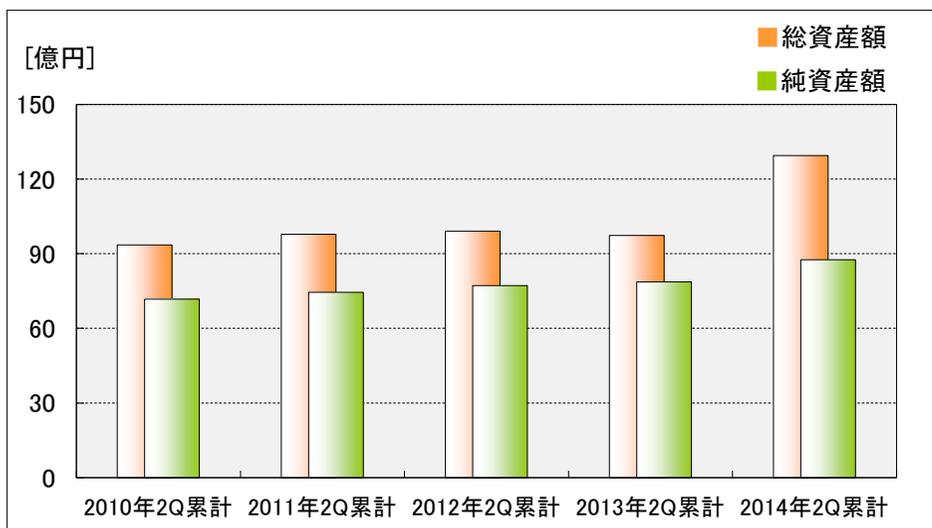
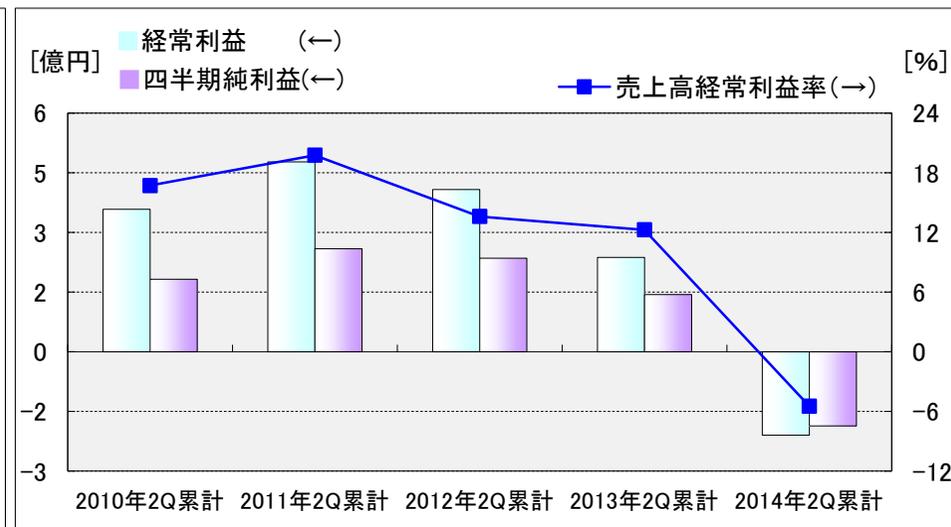
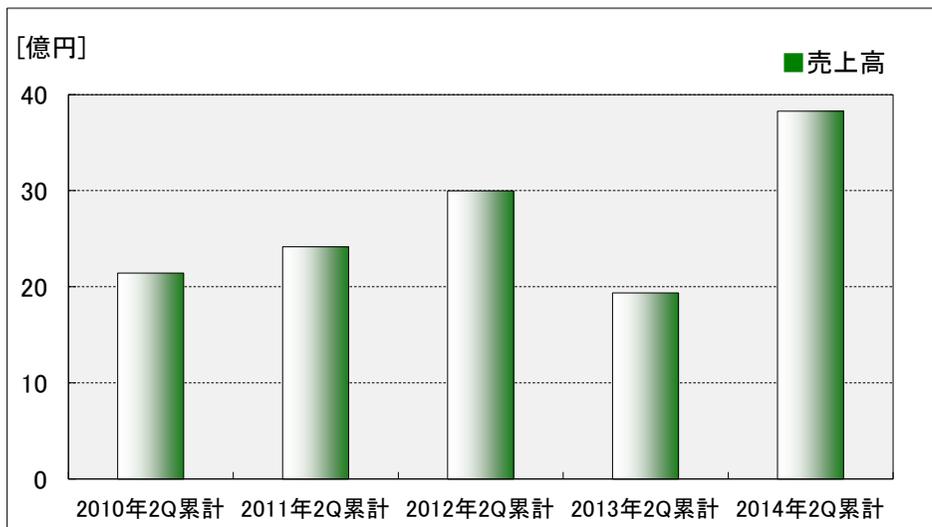
指標	実績	前期比	増減要因
売上高	3,828	97.6%増	<ul style="list-style-type: none"> 国内外で積極的な営業活動を展開 前連結会計年度にローヤル電機(株)及び同社の連結子会社を子会社化
営業利益	▲166	—	<ul style="list-style-type: none"> 巻線機事業の幾つかの案件が第3四半期以降にずれこむ 開発要素の高い案件や先を見据えた研究開発を進める 新社屋稼働に伴う負担増
経常利益	▲209	—	<ul style="list-style-type: none"> 持分法による投資損失を計上
四半期純利益	▲186	—	

《セグメントの業績》

(単位:百万円)

セグメント	売上高	セグメント利益	増減要因
巻線機事業	1,813	▲88	<ul style="list-style-type: none"> 自動車向け設備や家電製品向けの輸出案件が好調 開発要素の高い案件や先を見据えた研究開発を進める 棚卸資産の評価損を計上
送風機・住設関連事業	1,994	59	<ul style="list-style-type: none"> 軸流工作機械向けの生産増加に伴う納期の前倒し 消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も、懸念された大きな落ち込みがなかった
その他	20	▲2	<ul style="list-style-type: none"> 企業再生支援事業による

業績の推移



	2010年第2 四半期累計	2011年第2 四半期累計	2012年第2 四半期累計	2013年第2 四半期累計	2014年第2 四半期累計
売上高（百万円）	2,143	2,417	2,999	1,937	3,828
経常利益（百万円）	358	477	408	237	▲ 209
四半期純利益（百万円）	182	259	235	143	▲ 186
純資産額（百万円）	7,173	7,449	7,718	7,866	8,758
総資産額（百万円）	9,353	9,783	9,908	9,734	12,947
1株当たり四半期純利益（円）	31.03	44.26	40.21	24.60	▲ 31.81
売上高経常利益率（%）	16.7	19.8	13.6	12.3	▲ 5.5

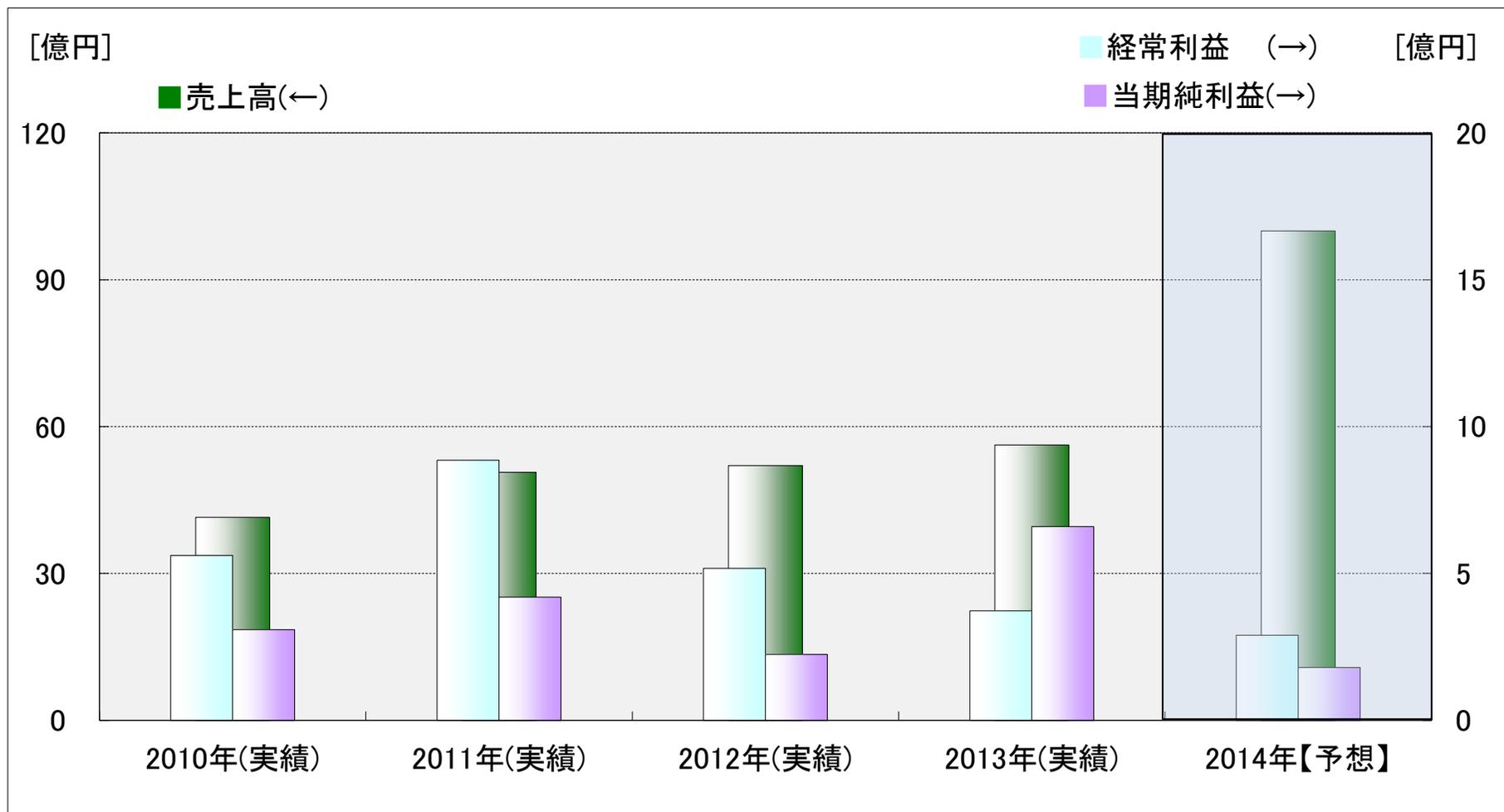
【参考】

2013年：幾つかの案件の売上が第3四半期以降にずれこむ、売上高が減少したものの原価は概ね順調に推移

2012年：個別売上高が過去最高を記録、開発要素の高い大口案件が原価率を押し上げ、厚生年金基金脱退損失引当金を計上

2011年：売上高は好調に推移、原価低減も図れた

2010年：過去最高の受注高、受注環境・生産活動とも順調



決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものであります。今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

① 株式会社 小田原エンジニアリング